

エネルギーハーベスティングの新展開

2022年9月20日（火）9時45分～16時50分

東北大学 川内北キャンパス

エネルギーハーベスティングは、周辺環境から微小なエネルギーを得て電力に変換する技術のことです。熱や振動、電波、室内光などの異なるエネルギー源について、個別に材料開発から応用まで議論されることが多いなか、共通の課題と棲み分けに関する議論は重要です。本シンポジウムでは、情報共有・議論などを行う場を提供し、本テーマに関心のある方々との議論を通じて、共同研究促進、人的ネットワーキングなどにより、本分野の発展を図ります。

招待講演者

- ・内田健一（NIMS）
スピнкаロリトロニクスによるエネルギーハーベスティング
- ・李哲虎（産総研）
低熱伝導率材料を用いた熱電モジュール
- ・石橋孝一郎（電通大）
RFエネルギーハーベスティング技術とIoT応用の新展開
- ・岡本敏宏（東大）
バンド伝導性有機半導体の熱電特性
- ・田中優実（東理大）
セラミックエレクトレットの創成とそのデバイス応用
- ・小野新平（電中研）
スマートメカトロニクスを利用した振動発電素子の開発
- ・田中裕二（リコー）
固体型色素増感太陽電池の環境センシングデバイス電源への応用
- ・南部修太郎（Eサーモジェンテック）
フレキシブル熱電発電モジュール「フレキーナ®」搭載自立電源の開発
例と将来展望

＋ 一般講演4件

企画

エネルギーハーベスティング研究グループ
フォノンエンジニアリング研究会

世話人

鈴木 雄二（東大）
秋永 広幸（産総研）
野村 政宏（東大生研）
田中 有弥（群馬大）